

# おおの議会だより

No. 71  
62.7.20



## 夢は全国優勝

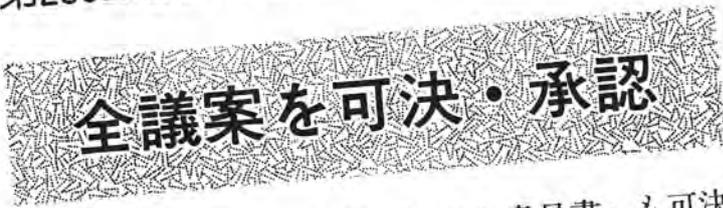
元巨人軍 柴田氏が実技指導

7月18日、元巨人軍の柴田勲氏が来野。市民会館で講演の後、午後3時半から有終東小学校グラウンドで、市内の少年野球チームの

選手たちに実技指導をしました。会場には、この程行われた全日本学童軟式野球北陸大会で見事に優勝し、8月8日から神奈川県川

崎球場で開かれる全国大会出場のキップを手中にした、有終東野球スポーツ少年団のナインも全国優勝を胸に熱心に指導を受けました。

# 第230回6月定例会



「62年度米穀政策等に関する意見書」も可決

第230回定例会市議会は6月16日招集され、会期を23日までの8日間と定め、理事者から提出された議案12件について審議しました。その結果「昭和62年度大野市一般会計補正予算案」「大野市有料駐車場設置条例の一部を改正する条例案」など、全議案を可決・承認しました。最終日には議員提案による「昭和62年度米穀政策等に関する意見書」を可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

## 審議日程

- 16日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 17日 休会
- 18日 本会議（一般質問）
- 19日 本会議（一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託）
- 20日 休会
- 21日 休会
- 22日 委員会（産業経済・建設・教育民生・総務）
- 23日 委員会（教育民生・総務）
- 23日 本会議（各委員長報告質疑・討論・採決、追加議案の上程）

| 議案番号   | 件名   | 結果   |
|--------|--|------|
| 第二十九号  | 昭和六十二年大野市一般会計補正予算（第一号）案                    | 原案可決 |
| 第三十号   | 昭和六十二年大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第一号）案            | 原案可決 |
| 第三十一号  | 昭和六十二年大野市老人保健特別会計補正予算（第一号）案                | 原案可決 |
| 第三十二号  | 昭和六十二年大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第二号）案              | 原案可決 |
| 第三十三号  | 大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案                     | 原案可決 |
| 第三十四号  | 大野市有料駐車場設置条例の一部を改正する条例案                    | 原案可決 |
| 第三十五号  | 市営住宅明渡し訴訟の提起について                           | 原案可決 |
| 第三十六号  | 大野市道路線の認定及び廃止について                          | 原案可決 |
| 第三十七号  | 大字・字区域の変更について                              | 原案可決 |
| 第三十八号  | 専決処分の承認を求めることについて（六十二年簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）） | 承認   |
| 第三十九号  | 専決処分の承認を求めることについて（市税賦課徴収条例の一部改正）           | 承認   |
| 第四十号   | 専決処分の承認を求めることについて（国保税条例の一部改正）              | 承認   |
| 市会案第四号 | 昭和六十二年米穀政策等に関する意見書                         | 原案可決 |

## 七月臨時会

助役の選任について

同意

# 市政をきく 一般質問から

## 市長の政治姿勢について

**問** 昨年の9月議会の一般質問で助役問題が論議された際、市長は「早い時期に優秀な人物を選任したい」と答弁したが、その後空席のまま1年近くになろうとしており、市民も大変憂慮している。

一方、行財政が厳しい中で数多くの問題が山積しており、助役の空席は行政上のマイナス面が大きいと思うが、どうか。

**答** できるだけ早い機会に選任し議会の同意を得るよう努力してきたが、諸般の事情で今日まで遅れてしまった。

しかし、これも限界にきたように思うし、私も就任以来まる1年になるので早く選任したい。

## 情報公開について

**問** これからの情報公開は、単に「知らせる」という形式的なもの



パーキングチケット制になり60分駐車になった六間通り

でなく、もっと自分たちの市や町を考えるための材料を積極的に提供するものでなければならぬ。市民の自治意識や地域の連帯感を高めるとともに、ひとり1人の役割と義務を果たすことができるよう総合的に体系づけることが必要である。

自治体内部の情報公開をはばむ体制を変えなければならないと思うが、どうか。

**答** これに対処するために4月1日の組織改正で、企画広報課の統計係を情報統計係に改めて対応を図っている。

しかし、この問題には多額の経費と相当の準備期間が必要であるし、庁舎のスペース的な問題もある。大野市独自の方策を検討するために、庁内にプロジェクトチームを設置して考えていきたい。

なお、県内で実施している例を見ると90%以上が個人情報で、地籍図や土地台帳の閲覧であり、新たに制度化しなくてもよいのではないかという面もある。



## 駐車禁止区域と 商店街振興について

**問** 最近、六間通りがパーキングチケット制になり、駐車が有料になった。1時間100円で、50円の買物をするのにも100円が余分に必要ということで、商店街にもいろいろな影響が出ている。

市街地で気楽に買物ができるような街にすることが必要と思うが駐車禁止になった経過と今後の対応策について聞きたい。

**答** 4月1日から道路交通法の一部が改正されて、路上駐車を防止し円滑な交通を確保するために規制された。基本的には駐車禁止であるが、短時間の駐車だけは認めるものである。

現在、批判もあると思うが商店街としては共同駐車場や自店専用の駐車場を設置する必要もあると思われる。反面、買物客の中には「いつ行っても駐車できるからありがたい」という声もある。

設置以来まだ2ヵ月半であるので、もう少し時間をかけて利用状況等を検討してよい方向を見出したい。

## 市街地整備基本計画と 大高移転等について

**問** 昨年度から大野市街地整備基本計画策定のための調査が、大学・商工会議所・青年会議所・観光協会等からなる44人の委員で進められており、去る5月25日、亀山にトンネルを掘ってバイパスへ通じる案が報道された。この計画には西校や大高の移転等がからみ、市民の戸惑いや混乱を生ずるおそれと考えられる外、種々の問題があり、研究の余地があると思うが、市長の見解はどうか。

**答** 市街地整備基本計画は昭和80年度を目標年次としており、61年から3ヵ年間で計画を策定するものである。

現在、三番線の拡幅、大高・西校の移転と地域活性化の問題を検討中である。

新聞報道された内容は、その中間的な構想として都市計画審議会では話をした程度であるのでご理解願いたい。

## 奥越総合公園について

**問** スポーツ関係者や愛好者から体育施設の充実を強く要望されて



スポーツ関係者から充実を望まれている市民グラウンド



80年を目標年次に整備基本計画策定が進められている市街地

いるが、総合公園にどういう運動施設が繰り入れられるのか。また着工の見通しについても聞きたい。

**答** 県は昨年9月に調査費を計上し、以後、数回にわたって2市1村の理事者や関係者で協議中である。現在は大野・勝山両市から各3箇所、計6箇所の候補地が挙げられている。

地元は事業費の10%と完成後の維持管理費を負担しなければならないので、十分な協議・検討が必要である。

約13箇のうち1/2程度を運動施設として配置するよう県に要望しているが、できれば9月県議会で設計費が計上されるよう努力したい。

## 人材養成のための教育資金の 予算化と産業起こしについて

**問** 当市の繊維産業は壊滅的な状態であり、これに伴う離職者も多く、所得の低下や若年層の流出などが目立ち、活性化とは程遠い。

このような経済情勢下では、企業誘致は困難であると思うので、地域に適合した産業を起こすことが必要である。

そのため「産業留学制度」のような制度を設け、教育資金の予算化を図ってはどうか。

**答** 人材養成のための産業教育の助成については、企業が新たな事

業転換をするために従業員に勉強させる場合などは、何か考えなければならぬだろうと思う。

今回、中小企業事業転換促進事業費で100万円を補正しているのは、これまでの金融面だけでの不況対策も限界にきているので、産業転換のための人材養成・研修等に充てるための助成である。

## 水行政について

**問** 生活・工業・融雪・灌漑用水と、近い将来の本格的な上・下水道建設を含めて真剣に検討すべき時期である。以前、打波川・清滝川・赤根川等のダム建設の話があったが、その後どのようにになっているのか。

**答** 当市は表流水・地下水ともに現状では明らかに不足しており、当面の方策としては節水・有効利用を図らねばならない。

長期的にはダムを建設して新規に開発するほかはないと思う。

九頭竜川・真名川の二大河川は既に開発済みであるので、今後は清滝川・赤根川などの中小河川の開発に頼らざるを得ない。

流域の自然的・社会的特性に配慮して、関係の方々の理解と協力を得ながら多目的ダムの建設を図りたい。

## 観光対策について

**問** 当市の観光協会は1,000人を超える組織になり、会員相互の連携を図りながら英知を結集すれば十分期待できるが、先日の総会をみる限りでは諸団体のリーダーの参加が少ないように思われる。

夜の短時間の総会では十分な審議もできなかったようであるが、行政と一体になった観光協会であればならないと思う。

また、越前大仏落慶の後、多数の観光客が訪れているようであるが、これをいかに大野へ誘致する考えか。

**答** 従来の観光協会は市長が会長を務め、行政主導型であったが私が就任以来、新しい観光協会の発足を強く呼び掛けた。

先般の総会は夜のことであったので集まりが少なかったようだが、協会の発展は当市の観光推進に極めて重要であるから、十分協力していきたい。

越前大仏の観光客の当市への誘致については、奥越広域観光推進連絡協議会としても県外へも出向宣伝等を行っているが、さらに努力したい。

## 市内の観光対策と水シンポジウムの対応について

**問** 来年、当市で全国水環境シンポジウムが開催されることになったが、この際今もウグイが泳いでいる城町の新堀川をさらに浄化させ、全国から参加する方々に紹介してはどうか。

さらに、柳町の土堀や石垣を改修したり、お清水や義景公園、亀山公園、郷土歴史館周辺に公衆便所や駐車場、休憩所、案内所等を設置すべきだと思うが、どうか。

また既に予算化されている温泉



ウグイが泳いでいる新堀川

脈空中探査はどうなっているのか。

**答** 新堀川の浄化整備については十分検討したい。

亀山周辺の付帯設備の整備については民間団体とも十分検討し、公衆便所等も取り入れるように努力したい。

温泉脈空中探査については、先進地の調査結果を参考にしたり、当市の適地をよく検討して実施したい。

できるだけ早く調査して11月ごろまでには報告書をまとめたい。

## 総合病院について

**問** 現在、大野市民が年間に支払っている医療費のうち約30億円が市外へ流れている。総合病院を市内に設置すれば、大きな工場を誘致したのと同じような効果がある

と思う。

市民の期待にこたえるため早急に総合病院を整備してはどうか。

また、その場合公的病院は市の財政に大きな負担を与えることになるので、民間団体が建設した場合に市として応分の協力をする考えはないか。

**答** 総合病院の問題については、地域医療協議会を中心に調査研究を重ねている。

結論として、今年4月から医師会の全面的な支援を得て、土曜日の午後と夜間診療を実施することになり、休日急患診療所の充実を図った。今後、診療状況の推移をみながらできる限り充実させたい。

民間サイドの総合病院建設については、今のところ話は聞いていないが、計画が具体化し正式な要請があった時点で議会とも協議したい。

## 第231回臨時市議会

### 助役に齊藤氏を選任

去る7月10日、第231回臨時市議会が開かれ(会期1日)理事者から提出された「助役の選任について」の議案を審

議しました。

その結果、齊藤秀雄氏(58歳、日吉町)の選任に同意しました。

### 専用サッカー場の設置に おけるメリット及び サッカー都市宣言の勧め

**問** 当市のサッカーは全国高校正月サッカー出場や幾度かのインターハイ出場、また、小学生の少年クラブ全国大会出場など、その活躍には目覚しいものがあり、現役のサッカー人口も800人を数えている。

県内でも「サッカーは大野」というくらい有名になっているが、専用の芝サッカー場がないため、実力があがりながら成績はいま一歩である。

芝サッカー場があると各種大会を誘致できてレベルアップが図れるし、経済効果や観光面でのメリットも大きいのでこれを設けてはどうか。

また、「サッカー都市宣言」をしてはどうか。

**答** 専用グラウンドがあることは望ましいが、現在市が管理するグラウンドの1つをサッカー競技場として固定することは極めて困難である。

今後、真名川グラウンドに新しく設置するコートや、奥越総合公園構想の中で十分検討したい。

また、六呂師の雇用促進事業団が設置した多目的グラウンドに芝生を張ったかどうかという考え方も持っている。

都市宣言については、体育協会やスポーツ振興審議会等にも相談しながら今後検討したい。

### 大野市農協 合併問題について

**問** 市農協と上庄農協の合併の必要性が叫ばれて久しくなる。市長は精力的にこの問題に取り組んでいるようであるが、未だに各農家組合長に対して説明会も開いてい



少年サッカーチームの練習

ないようであるし、事務手続きも遅れていると聞く、今後の見直しを伺いたい。

**答** この問題には就任以来積極的に取り組んでいるが、現在、農協合併促進協議会に切り替えて検討し、63年4月1日を合併目標にしている。

両農協から38人の職員を委嘱して、6部会を設けて合併をした場合の問題点などを集約してもらっている。近く推進協議会を開き、8月には集落ごとの懇談会を開いて各組合員の理解を得るよう要請をしたい。

### 市道認定について

**問** 昨今、交通量の増加および環境整備等によって、区道・農道の市道編入の要望が数多い。特に村部では土地基盤整備によって道路網が変更になり、農道が通学道路になったりして一般道路化しているため、各集落では維持管理に苦悩しているの、市道認定を急ぐべきだと思うが、どうか。

**答** 市道については56年に大幅な見直しのもと市道台帳を整備し、その後も数回の見直しを行っている。要望に沿っていつでも認定す

るという考え方もあろうが、今後は原則として2カ年間隔で見直しを行いたい。

### 林務行政について

**問** 林業は交通の不便なところで作業をしなければならない。また近年、林道は観光面・保健面にも貢献する施設でもある。

現在の車時代に即して、林道の舗装を意欲的に進めてはどうか。

また、市有林の境界測量委託料が計上されているが、どこへ委託しているのか。

その際職員が立ち会いをしているのかも伺いたい。

**答** 林道は総延長9万6,345mのうち1万7,253mが舗装済みで、舗装率は18%になっている。

今後も通行量の面から、また維持管理上、舗装効果の高いところから優先的に、各種の補助事業を取り入れながら努力したい。

境界測量については61年度から計画的に行っているが、造林・保育等で作業をして境界を熟知している森林組合に委託している。

その際には職員が立ち会うとともに、隣接地の同意を得て問題が生じないようにしている。

## 林業経営対策について

**問** 当市の各生産森林組合は、円高不況で木材の価格が安く、伐採した木材の販売代金だけでは跡地の植林や維持管理ができない状況である。

さらに、法人税の値上げで税金の支払いも困難な状態であるが、減免する考えはないか。

**答** 法人市民税は公益上の事由による場合等は減免できることになっているが、生産森林組合はこれに当てはまらず、県下でも減免しているところがない。



きれいに植林され順調に成長している杉山

## 国民健康保険税について

**問** 国民健康保険会計は経営が圧迫され一般会計からの繰り入れを

しているが、この原因のひとつに保険税の滞納が挙げられる。

滞納者の実態を十分調査しなければならぬが、まじめに保険料を納めている人たちとの間に不公平を生じさせないためにも、督促

や呼び出しに応じない悪質な者については厳しい処分を望み、滞納を一掃する必要があると思うが、対策を聞きたい。

**答** 保険税の滞納者については督促や訪問をしているが、訪問しても留守の場合は夜間に電話で催促し、状況をよく踏まえたうえで滞納処分の方法によって整理をしている。

また、滞納者のうち6割軽減・4割軽減に該当する低所得者に対しては分割方法で早く納入するよう指導している。

## 請願・陳情審議結果

| 番号   | 件名                 | 提出者                     | 結果   |
|------|--------------------|-------------------------|------|
| 請願5号 | 市道編入について           | 太田区長<br>竹内弘 外4名         | 採択   |
| 請願6号 | 側溝の改良及び流水量の増加について  | 春日野区長<br>下川武 外99名       | 継続審査 |
| 請願7号 | 市道編入と改良舗装について      | 麻生島区長<br>堂林博 外2名        | 採択   |
| 陳情3号 | 用水路の改修について         | 水落一区長<br>金森仁之助 外8名      | 採択   |
| 陳情4号 | 市道編入について           | 堂島区長<br>野村忠昭 外2名        | 採択   |
| 陳情5号 | 市道改良について           | 下黒谷区長<br>千藤登史 外4名       | 採択   |
| 陳情6号 | 旧国鉄大野自動車営業所跡地について  | 水落一区長<br>金森仁之助 外1名      | 継続審査 |
| 陳情7号 | 大野招待サッカーに対する助成について | FCおおの父兄会<br>会長 清水英男 外2名 | 採択   |
| 請願3号 | 市道と区内道の総合整備改良について  | 深井区長<br>畑中幸雄 外18名       | 継続審査 |

## 学校用務員の配置について

**問** 六呂師・森目両小学校には養護教員と事務職員が配置されていないうえ、給食調理は用務員が兼務している。給食調理が多様化している現況の中で、給食婦と用務員とを兼ねることは負担過重である。対応策はないのか。

**答** 現在のところ、職員の配置については現状のままで対応したいと思うが、時間的に業務が重なる場合や休暇等で通常の業務に差しつかえがあるときは、予算の範囲内で臨時かパートで対応したい。

# 委員会報告

委員長報告から

## ●建設委員会

### ●市道路線の認定について

市道路線の認定については、従来二、三年ごとに見直しを行っているが、昨今の生活環境の変化や都市化が進むなかで、住民の道路行政に対する期待は非常に大きい。

また、農道の整備が進み通学道に利用しているところもあるので画一的でなく緊急性・必要性などを勘案し、公共性の高いものから速やかに市道認定をすべきであるとの意見が述べられた。

## ●産業経済委員会

### ●企業誘致について

企業誘致を積極的に進めているものの、いざ企業が本腰を入れ始めると用地確保が難行し結局、当市を離れてしまうという非常に残念な結果になっている。

用地確保が遅れる原因として、大野独特の地権者の考え方が挙げられるが、そのコンセンサスの進め方をもっと検討すべきであると



老朽化した破碎施設

の意見があった。

### ●観光行政の推進について

市観光協会の会員減少によって補助金が減額されないようにし、積極的かつ多彩な事業を行うよう側面的に指導・協力をすべきであるとの意見が述べられた。

### ●青年の結婚問題について

青年の結婚問題は農村に限らず全市的な問題として現状を真剣に考え、将来を担う若者に希望を与えるための措置を講ずるべきであるとの意見が出された。

## ●教育民生委員会

### ●国民健康保険事業について

国民健康保険の給付額は年々増

加の一途をたどっている。このため、保険税も増額しなければならないが、最高限度額が決められていることなどから、これ以上は望めないし、一般会計からの繰り入れにも問題がある。

国保の実状を加入者にPRし、医療費の無駄遣いをなくすよう啓発すべきであるとの意見が述べられた。

### ●清掃費について

今回の補正で破碎施設の建設のため、環境影響調査委託料が計上されているが、他方ではゴミの減量のため、リサイクル活動の費用が計上されており矛盾しているのではないかと。そして、破碎施設建設予定地が現在の清掃センターの隣接地であるので、立地条件等からみて多額の費用をかけた環境アセスが必要なのかどうかという意見が述べられた。



当市の観光の目玉「朝市」

## 永年勤続表彰

○全国市議会議長会

(20年以上在職)

現職 平間 源治

前議員 米村 喜六

発行 大野市議会事務局 TEL六六一二二二 印刷 榎松浦印刷所